

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 富士川流域の減災に係る取組方針

取組実施状況（案） ～代表事例～

令和2年5月13日

富士川流域における減災対策協議会

○ 地区減災マップの作成

- 目的:住んでいる地域の危険箇所を確認し、マップ化することで、住民相互で避難場所までの安全な避難経路等を共有し、減災につなげる。
- 実施日:令和2年2月23日
- 実施場所:武田の里ふれあいホール
(韮崎市神山町)
- 実施内容:
 - ・専門家による、作成の目的や方法の説明
 - ・地区内を組単位(1組5~7名)で歩き、避難経路と危険構造物等を確認
 - ・マップへ危険箇所を落とし込む
 - ・緊急時の初動規定を併せて検討
 - ・参加者約50名
 - ・取り組み結果を全てマップに表示し、組単位のオリジナルのマップを完成させる。
 - ・地区住民全戸配布し、情報を共有



専門家による進め方等の説明



組単位でのマップへの落とし込み作業

○ 地域減災リーダー育成事業

- 目的: 韮崎市の「減災力の強いまちづくり宣言」の一つとして、地域減災リーダーを育成することで、市民自らが防災・減災の知識を高め且つ共助活動の推進につなげる。
- 実施期間: 令和元年7月14日～令和2年2月10日
- 実施場所: 各地区公民館、市役所、など
- 実施内容:
 - ・ 専門家による座学1日(7時間)
 - ・ 座学内に避難所開設のワークショップあり
 - ・ 消防署員による普通救命実技講習半日(3時間)
 - ・ 認定試験(全24問 75点以上を合格)
 - ・ 形式は市が行う集中研修と地区へ出向く出前型研修
 - ・ その他、高校生対象と女性限定(託児付き)の研修を実施
 - ・ 試験合格者へは、市長名の認定証を交付



専門家による座学



普通救命講習(心肺蘇生・AEDの実技)

○ 地域防災力の向上のための人材育成

- 目的：甲斐市地域防災リーダー育成
- 実施期間：令和元年6月10日～7月7日
- 実施内容：
 - ・「自助」「共助」による地域防災力の強化を目的とし平成28年度から「甲斐市地域防災リーダー養成講習」を開催。
 - ・自治会推薦者及び一般応募者を対象に、1人につき全3回の講習を受講。
 - ・講習・実習内容は、避難所運営や自主防災マップ作成、自主防災組織による先進事例発表など。
 - ・令和元年度 新規認定者数 85人
 - ・甲斐市地域防災リーダー累計 272人
 - ・講師
災害・防災ボランティア未来会
甲府地区消防本部
NTT東日本
敷島台自主防災組織



避難所運営図上演習



災害用伝言ダイヤル実習

○ 共助の仕組みの強化(地区防災計画策定の促進)

● 目的

- ・地域コミュニティにおける共助の重要性の認識
- ・住民同士で意見を出し合い議論を交わし、防災意識や住民交流の大切さを共有

● 実施期間

- ・令和元年9月～令和元年12月

● 実施内容

【防災講座の実施】

- ・地区防災計画の必要性、先進事例の紹介を学ぶ

【ワークショップの実施】

- ・地区の自然特性や社会特性を踏まえた災害リスクの抽出
- ・抽出された課題等への対応策を検討



○ 取組項目(共助の仕組みの強化)

- 目的:新しいハザードマップの内容を周知し、災害の際には住民が互いに助け合い、適切な行動をとれるようにする。
- 実施日:令和元年5月30日
対象者:昭和町女性団体連絡協議会
参加人数:19人
テーマ:昭和町の防災～身近な共助～
- 実施日:令和元年7月12日
対象者:区長・区長代理
参加人数:34人
テーマ:想定最大規模洪水時における昭和町の状況と住民が取るべき行動



昭和町女性団体連絡協議会研修会



区長・区長代理合同会議

○ 水防訓練の充実

- 目的：洪水時に避難施設としての使用する協定を締結している民間企業の施設を利用した、周辺住民による避難訓練。
- 実施日：令和元年8月25日
- 参加人員：3自主防災会170名
- 実施場所：(株)はくばく
- 実施内容：
 - 避難経路、施設の確認
 - 避難施設の避難範囲等概要説明



垂直避難(3階の避難所へ)



避難所の様子

○ 想定最大規模洪水を対象としたハザードマップの作成・周知

● 目的：
出水期前に、洪水ハザードマップを全戸配布し、ハザードマップの活用方法などについて説明会を行い、正しく理解してもらうことにより、被害の軽減につなげる。

● 実施日：
令和元年5月15日・16日・21日

● 実施内容：
町内3地区で洪水ハザードマップ説明会を開催

- ・三珠総合福祉センター 17名参加
- ・六郷町民会館 27名参加
- ・市川三郷町役場本庁舎 45名参加

自身で判断し行動するための逃げ時チャート、円滑な避難をするための行動のポイントを説明



三珠地区



六郷地区

○ 取組項目(住民を対象とした防災学習会の実施)

- 目的:大災害を後世に伝承するとともに、地域で起こった過去の災害を改めて知り、災害を自分ごととして意識を持つことで、被害の軽減につなげる。
- 実施日:現地学習会 令和元年11月24日
または
- 実施期間:パネル展 令和元年11月24日～令和元年11月27日
- 実施内容:
 - ・町内被災箇所をバスで巡回して学習
 - ・実施場所:富士川町長澤地内他
 - ・参加人数:27人
 - ・パネルによる過去の災害の悲惨な状況、また、現地での学習により、災害が他人事ではないことを実感することができた。



ハザードマップの説明



パネル展

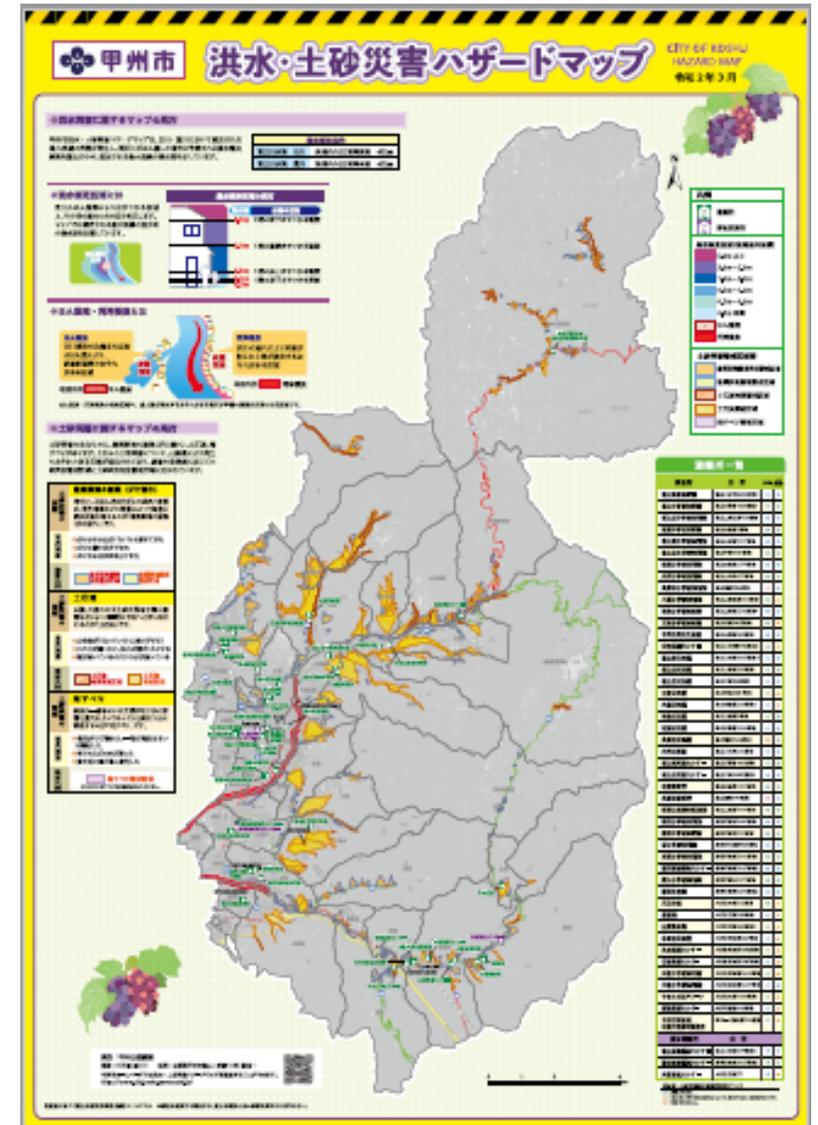
◆逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等

○ 取組項目(想定最大規模洪水を対象としたハザードマップの作成・周知 ほか)

- 目的: 甲州市洪水・土砂災害ハザードマップの作成
- 実施期間: 令和元年8月1日～令和2年3月19日
- 実施内容:
 - ・洪水項目の追加
 - ・資料内容等の見直し
 - ・ハザードマップの全戸配布
 - ・ハザードマップの周知 等



A4版40ページ



A1版全体マップ

○ 関係機関が連携した実働水防訓練の実施

○令和元年度 山梨県水防訓練

- 日 時 令和元年5月26日(日)
- 参加人員 訓練隊 約189人
- 参加機関 甲州市水防団
東山梨消防本部
塩山消防署
山梨県警察本部
日下部警察署
甲州市赤十字奉仕団
甲州市消防団女性消防隊
塩山建設業協会隊
峡東建設事務所
- 訓練内容 破堤防止作業訓練(積み土のう、木流し、月の輪、表むしろ張り)
埋没車両からの救出訓練
水難救助合同訓練
救護法訓練
河川応急復旧訓練



月の輪工法(甲州市水防団)



救護法訓練(甲州市赤十字奉仕団、甲州市消防団女性消防隊)

○ 浸水想定区域における防災訓練の実施

- 目的：浸水時を想定した防災訓練を実施し地域防災力の向上を図る。
- 実施期間：令和元年11月18日
- 実施地区：下神内川7区
- 実施場所：加納岩小学校校庭
- 実施内容：浸水時を想定した避難訓練や炊き出し、地元消防団の協力のもと傷病人の緊急搬送やがれき撤去の訓練等を実施。



傷病人の搬送訓練



がれき撤去・救出訓練

○ 浸水想定区域や土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設を対象とした、避難確保計画の作成講習会を実施

- 目的:作成する施設担当者の負担を軽減し、計画の作成から市への提出までを支援
- 実施日:令和2年1月17日(金)前期講習会
令和2年1月29日(水)後期講習会
- 対象施設:138施設
- 実施内容:
 - ・前期講習会:計画作成におけるポイントを説明(水害リスクや気象特性、計画の様式を活用した作成方法など)
 - ・後期講習会:各施設において工夫した知恵の共有、施設単独で解決できない問題など、ワールドカフェによる意見交換
 - ・実施場所:笛吹市スコレーセンター
 - ・前期講習会参加施設:56施設(72名)
後期講習会参加施設:41施設(53名)
 - ・効果としては、講習会前の避難確保計画作成率7.9%が、講習会実施後、31.8%まで上昇



前期講習会(作成ポイントを説明)



ワールドカフェ(意見交換)

○ 小中学生等を対象とした水災害教育の実施

- 目的：小中学生を対象とした、防災教育等を実施するとともに、自治会等からの要請に基づく、講習会等を実施する。
- 着手：令和元年度
- 完了：令和2年度
- 実施内容：
 - ・パワーポイントを使用した防災教育
 - ・防災クイズ
 - ・災害対応ゲーム(DIG)
 - ・避難所運営ゲーム(HUG)
 - ・救命講習、防災講話
 - ・その他防災に関する事項について



○ 想定最大規模洪水を対象としたハザードマップの作成・周知

- 目的:全国各地で水害が頻発・激甚化したことにより、「千年に一度とも言われる降雨」を想定した洪水浸水想定区域図に基づいて、平成18年度に発刊した洪水ハザードマップを改定し、広報誌7月号と同時に全戸配布した。また、市内5会場で説明化を実施した。
- 実施日:令和元年7月8日～令和元年7月12日
- 実施内容:
 - ・ハザードマップを用い、水害リスクの確認
 - ・災害(大雨情報や避難時に役立つ情報)の情報収集方法についての確認
 - ・質疑応答等
- 今後の課題:
 - ・ハザードマップの順次見直し
 - ・多言語(中国語、韓国語)版の作成
 - ・在住外国人への周知を順次実施



説明会の様子①



説明会の様子②

○ 水防連絡部会等による水防団等との合同巡視の実施

- 目的：出水期にあたり河川の氾濫及び土砂災害等の発生の恐れのある危険箇所の巡視・点検等を一層強化する必要があることと、また水防関係機関との情報連絡体制の強化を図ること
- 実施日：令和元年6月28日
- 実施内容：
 - ・湯村地区の湯川と、琢美地区の藤川の2箇所の巡視
 - ・河川管理者と連携を図る中、水防危険箇所の巡視
 - ・危険箇所の巡視等により発現された不具合箇所の提言



湯川周辺



藤川周辺

○ 自主防災組織及び消防団(水防団)を対象とした防災研修会の実施

- 目的: 出水期前に開催することで、正確な防災情報の入手方法や水害のリスク、浸水想定区域及び土砂災害の発生の恐れがある危険箇所を把握することにより、適切な避難行動等の確認を行い、被害リスクの軽減を図る。
- 実施日: 令和元年7月4日
- 実施内容:
 - 警戒レベル情報や他の被災地の状況、避難行動の考え方、避難時の心得等を確認し、自助・共助による防災・減災対策を学習した。
 - また、地区防災計画や避難所運営の重要性をそれぞれの立場で再確認し、自主防災組織の代表者が活動状況の事例発表を行った。
 - 実施場所 中富総合会館
 - 参加人数 92名



研修会(事例発表)



活動事例資料の展示

○ 取組項目(防災教育の促進)

- 目的:山梨県においては一昨年4月1日より「山梨県防災基本条例」が施行され、県民の防災意識の高揚を図るため、11月を山梨県の防災月間と定めたことにより開催。
- 実施日:令和元年11月19日(火)19:00～
- 実施内容:講演会
- 対象者:住民、自主防災会関係者、南部町消防団本団幹部及び、各部幹部など



○ 取組項目(家屋倒壊等氾濫想定区域の自治会を対象とした避難誘導及び避難状況確認の実施)

逃げ遅れゼロのための取組

- 地域住民への避難誘導を実施する

実施日: 令和元年10月13日(台風19号)
場 所: 富士宮市役所危機管理局



- 防災意識の向上、避難状況確認のための避難所訪問を実施する

実施日: 令和元年10月13日(台風19号)
場 所: 富士宮市内各避難所



○ 取組項目(自主防災会等の強化・育成及び水防活動への参加を促進)

防災啓発イベント「ふじBousai2019」

■目的

富士市内で起こり得る自然災害に関する「知識」を学び、初期消火や応急手当、マイ・タイムラインの作成などを実践的に「体験」することで、各家庭や職場、自主防災会の防災・減災対策につなげるイベントを開催した。

■対象者及び参加機関

対象者：市民、自主防災会

参加機関等：市、防災関係機関、関係団体、事業所 等

■実施日時

令和元年11月16日(土) 10:00～14:00

■会場

富士市産業交流展示場 ふじさんめっせ

■実施内容

知識エリア

- ・巨大ハザードマップによる自宅危険度の確認、豪雨時のマイ・タイムラインの作成、警戒レベルの説明
- ・水防団の取組みや富士市内の過去の水害の紹介 など

防災グッズエリア

- ・防災グッズの展示・販売、商品のプレゼンテーション など

ステージエリア

- ・自主防災会長等を対象とした豪雨災害に関する防災講演会
(講師：静岡大学防災総合センター 牛山素行 教授)
- ・防災クイズ大会 など



巨大ハザードマップで自宅危険度を確認

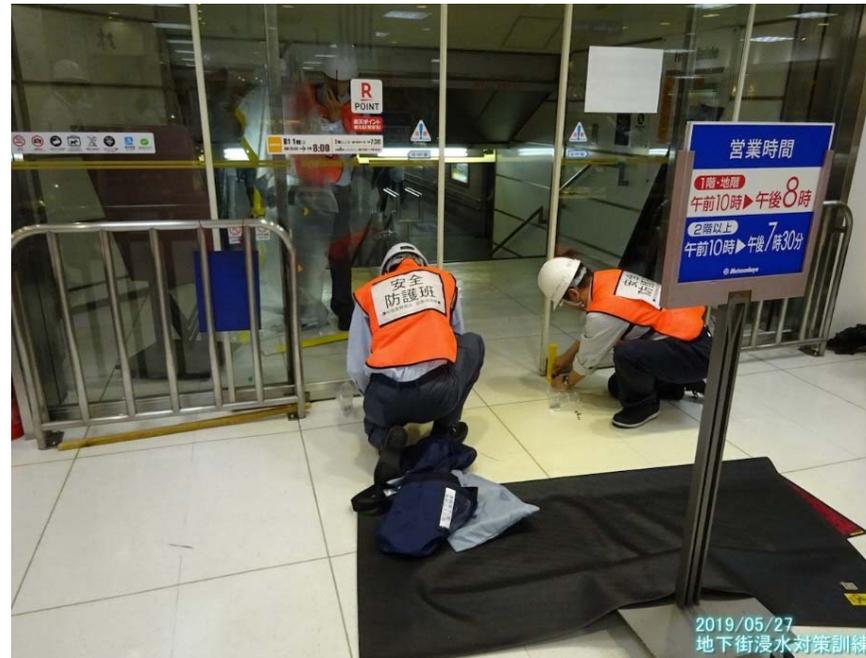


牛山教授による豪雨災害に関する防災講演会

○ 避難訓練への地域住民の参加促進

- 目的: 地下空間における浸水対策の推進
- 実施日: 平成31年5月27日
- 実施内容: 大規模集客施設における避難誘導・浸水防止訓練の支援

静岡市地域防災計画で位置付けた、地下施設をもつデパートと協働し、従業員約100名参加による避難誘導訓練及び止水板設置訓練を行った。



大規模集客施設における避難誘導・浸水防止訓練

○ 小学生等を対象とした水災害教育の実施

- 目的:小学生を対象に、川で遊ぶためのルールや水難事故にあわないための知識を学んでもらう。
- 実施
 - 令和元年7月18日 竜王東小学校
 - 令和元年10月11日 双葉西小学校(中北)
 - 令和元年10月18日 敷島北小学校
 - 令和元年6月14日 北西小学校(峡北)
 - 令和元年6月17日 下山小学校(峡南)
 - 令和元年6月12日 祝小学校(峡東)
- 実施内容
 - ・川で遊ぶ際の注意事項について説明し、パンフレットを配布した
 - ・簡易雨量計を用いて降雨量の観測方法を説明し学習してもらった。



6月17日 峡南建設事務所実施状況



6月12日 峡東建設事務所実施状況

- ICT等を活用した洪水情報の提供
- 洪水予測や水位情報の提供の強化

● 目的: 緊急速報メール及び危機管理型水位計を整備し、住民へ洪水の危険性を周知し、円滑かつ迅速な避難につなげる。

● 実施
 緊急速報メール運用開始
 令和元年6月1日～
 危機管理型水位計設置
 平成30年9月～令和元年11月

● 周知方法
 ・各種イベント及び説明会にて、チラシの配付及び利用方法の説明を実施

簡易型(危機管理型)水位計の運用を開始しました

山梨県管理河川で、簡易型水位計の運用を開始しました。観測された水位情報は、「川の水位情報」で公開していますので、お平元のパソコン、スマートフォンで確認いただけます。台風などで大雨が降っている際の、避難判断材料として役立て下さい。

簡易型水位計とは
 洪水時の観測に特化し、大雨で水位が上昇した際に観測を開始する水位計です。事後も設置型を撤収していきます。



三沢川 通学橋
 田川 堰本橋

川の水位情報
 山梨県管理河川のほか、国が管理する河川の水位情報が確認できます。
 URL: <https://s.yamanashi.jp/>
 ※簡易型だけでなく、従来の通常型水位計のデータも見ることができます。

● 簡易型水位計 ● 通常型水位計(常時水位を観測している水位計)



川の水位情報(パソコン・スマートフォンから)

URL: <https://s.yamanashi.jp/>
 ※簡易型だけでなく、従来の通常型水位計のデータも見ることができます。

● 簡易型水位計 ● 通常型水位計(常時水位を観測している水位計)

各水位観測所を選択すると、河川の横断面、水位グラフ、観測値を見ることができます。
 小画面左上の横断面を選択すれば、今の様子が表示されます。平常時は青色です。

水位が上昇し観測開始水位を超過すると、地図上のマークと河川の色が黄色になります。すぐに避難する必要はありませんが、10分毎に水位情報が更新されるので、水位の変化に注意して下さい。

観測開始水位は、河川管理者(県)が洪水に備えるため、河川の監視を強化する水位です。

さらに水位が上昇し危険水位を超過すると、地図上のマークと河川の色が赤になります。
 水位の変化のまかに、雨の降り方や市町が発する避難情報に注意して下さい。

危険水位は、洪水の発生に必要な水位です。いつでも避難できるように準備して下さい。

観測開始水位を超過すると黄色の表示になると、10分ごとの水位をグラフで確認することができます。中小河川では、急激に水位が上昇することがあるので、現在の河川の色だけで判断するのではなく、危険を感じたらすぐに避難して下さい。

簡易型水位計の詳しい仕組みや中身は、資料集の48～51ページ、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
 山梨県土木整備部治水課 水防担当 TEL: 055-223-1702 E-mail: chousai@pref.yamanashi.jp

洪水予報河川 氾濫危険情報の緊急速報メールの配信を始めます。

山梨県は、令和元年6月1日(土)から、荒川、塩川で、洪水の危険が高まったとき、「はん濫危険水位に達したことをお知らせする緊急速報メール」を配信します。

(配信するタイミング)

河川	危険水位	警戒水位	警戒水位に到達した時
荒川	14.5m	14.0m	14.0m
塩川	14.5m	14.0m	14.0m

【国定】
 荒川で、レベル4水位に達したとき、早野町、早野市、中央市、昭和町 の区域の携帯電話へ、塩川で、レベル4水位に達したとき、湯浅町、北杜市、甲斐市、甲斐町の区域の携帯電話へ、下記のメッセージを配信します。

OOH氾濫発生情報(洪水警報)
 OOH氾濫危険情報(洪水警報)
 OOH氾濫警戒情報(洪水警報)
 OOH氾濫注意情報(洪水注意警報)

【山梨県】
 配信対象市町村
 荒川 : 早野市、早野町、中央市、昭和町
 塩川 : 湯浅町、北杜市、甲斐市

【注意事項】
 ・このメールの配信は緊急速報メールに対応していない場合があります。
 ・携帯電話の近くでは、隣接する市町村までのメールが配信される場合があります。

※※ 上記内容は河川管理者の責任です。
 ① 自身の危険性を十分に認識し
 ② 危険を知らせる情報に正確に注意し
 ③ 危険を察知したら、自分自身は速やかに避難して下さい。
 そして、いざというとき、ためらわずに避難して下さい。

山梨県 治水課 TEL: 055-223-1702



11月16日 県民の日記念行事

○ 適切な土地利用の促進

- 目的: 不動産関連団体への水害リスクの解説等を行い、住民へ水害リスクを軽減
・回避する努力を促す。
- 実施
令和元年9月18日
全日本不動産協会山梨県本部
令和2年2月5日
山梨県宅地建物取引業協会
- 実施内容
・県内の水害リスク情報について解説し、取引先への周知をお願いした。
・チラシを用いて、洪水予報や水位情報の提供を行った。

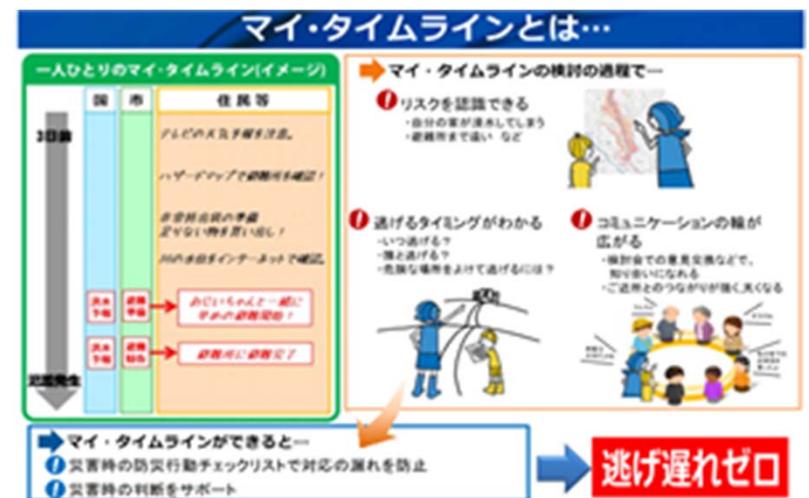


○ 取組項目(住民一人ひとりの避難計画・情報マップの作成支援)

- 目的:住民一人ひとりの避難計画等の作成促進に向けた市町への支援。
- 実施日:令和2年2月7日(県東部地域)
- 場所・参加者:県東部総合庁舎 50名
- 実施内容:
 - ・県東部地域の市町職員等を対象とした洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成の研修会
 - ・市町が住民向けの洪水ハザードマップ説明会やマイ・タイムライン作成研修会を開催する際、洪水ハザードマップの重要性の説明や活用方法、地域住民によるマイ・タイムライン作成時における指導方法等に関わるスキル向上のために、実演形式による研修会を実施



▲研修会の様子



▲マイ・タイムライン(イメージ)

○ 地域防災力の向上のための人材育成：地方公共団体防災担当者向け気象防災ワークショップ

- 目的：防災気象情報を用いたグループワークを通して、現在整備されている防災気象情報の種類や意味を理解し、避難勧告等の発令に関する検討・判断や、避難すべき居住者等に適切かつ確実な避難行動を促すための情報伝達等に役立てることを目的とする。
- 実施日
令和元年9月5日 峡南地域自治体防災担当者
令和元年9月11日 峡東地域自治体防災担当者
令和2年1月23日 中北地域自治体防災担当者
- 効果：参加者どうしの議論を通して、防災気象情報の内容や意味に関する理解を深めるとともに、他の参加者が有する知識や経験を共有したり、自らの考えとの違いなどから様々な気づきを得るなど、その後の防災担当業務の改善につながる効果が期待できる。



峡南地域気象防災ワークショップ



峡東地域気象防災ワークショップ



中北地域気象防災ワークショップ

○ 洪水対応情報伝達演習

- 目的: 富士川沿川自治体の首長(防災担当職員含む)と甲府河川事務所長(河川系管理職員含む)の出水時における情報共有のためのホットラインを実施。
- 実施日: 令和元年5月10日
- 実施内容:
 - ・水防連絡部会の全市町(全16市町)にホットラインを実施
- 取組による効果、ポイント
 - ・水位状況に即したホットラインを実施するために、現在の水位情報、氾濫危険水位到達の見込み、今後の対応などについて情報共有を実施。
 - ・昨年度の演習を踏まえ、所内の災害対策室内のレイアウトや班内の役割明確化することにより、訓練開始直後からより迅速な訓練が出来た。



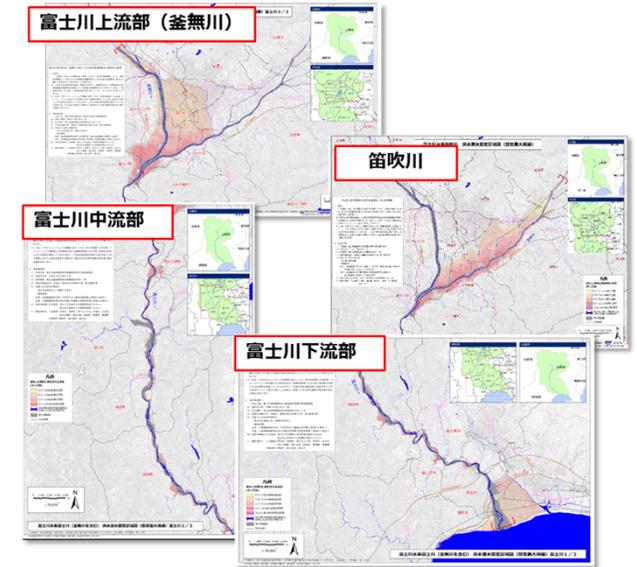
ホットラインの様子



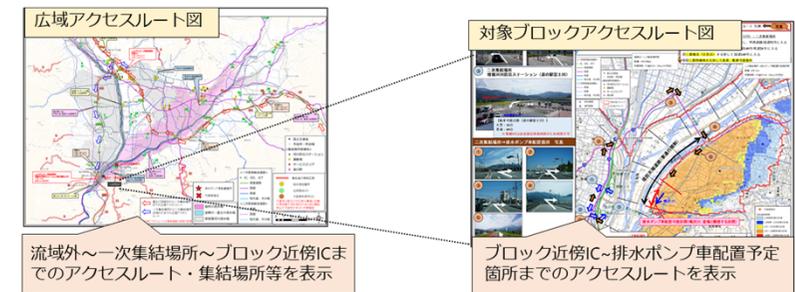
破堤箇所への対応について議論

○ 排水作業準備計画の作成

- 目的：洪水氾濫時における浸水被害の軽減を目的とし、富士川水系の流域特性を踏まえ、エリアごとに想定される被害特性等を考慮した現状の排水対応能力（排水ポンプ車等の搬入ルート含む）の分析及び課題の抽出を行う
- 実施日：平成30年4月～令和2年3月
- 実施内容：
 - ・各検討対象ブロックにおいて浸水継続時間が最悪となる破堤点が破堤した場合を想定し、①排水ポンプ車配置箇所、②富士川流域外より排水ポンプ車配置箇所までのアクセスルート、③集結場所（排水ポンプ車の待機場所）等を検討。
 - ・各検討対象ブロックにおける最終的な成果として排水作業が円滑に行われるような形で取りまとめた。
- 取組による効果、ポイント
 - ・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練



H29.3公表 浸水想定区域図(想定最大規模)



・排水ポンプ車配置箇所における留意事項などを表示
 ・排水ポンプ車台数と排水完了までの概ねの所要時間の関係を整理

1ブロック検討事例の1部抜粋